



日台稲門会 ニュースレター4月号 (2022年4月9日)

日台稲門会会員・会友の皆様

日台稲門会ニュースレター4月号をお届けします。

1. 挨拶 (三村達 会長)

ここに来て春真っ盛りといった中、2022 年早稲田大学入学式が4月1日・2日に開催されました。

世界はコロナ感染に加え、ロシアによるウクライナ侵攻と混 沌としており先が見えない状況にあります。

コロナも、ウクライナ侵攻も早く終息することを願います。



2. 日台稲門会春季講演会(報告)

3月26日に開催されました春季講演会は、会場参加31名、オンライン参加75名と盛況のうちに終わることができました。

- ◆演題: **『台湾有事と日台関係』** (講師小笠原欣幸東京外大学教授)
- ◆内容: ウクライナ有事と台湾有事の比較、日本がやるべきこと等を 独自の観点から説明されました。

台湾は、ウクライナと較べて面積で6%、人口で60%と小さいものの、



1

GDP は 4.3 倍(1人当たりは 7.6 倍)、貿易額も 5.3 倍と大きい。ウクライナは主権国家であるが、ロシアはウクライナは兄弟(スラブ民族)でありロシアの一部と考えているため、安全上の理由から NATO 加盟を認めない。一方、台湾は正式には主権国家ではないが、地政学上、経済上、事実上の独立国家。中国は、同じ中華民族と考え、台湾を自国の一部と考え、独立は許さない、他国との外交も許さないと。

ウクライナ侵攻により、台湾では、今日のウクライナは明日の台湾と危機意識が高まる一方で、中国は、アメリカは衰退傾向にあり、アフガン・ウクライナでもロシアの侵攻を止めることはできなかった。よって台湾がアメリカに頼っても最後は、見捨てられるだけ。頼るのは無駄と情報戦を展開。

今回のウクライナ侵攻を軍事面、情報面、経済面、政治面から分析。今回の戦いを見る限 り、軍事的優位だけでは、短期戦勝利は確実とすることはできないことがわかった。制空 権確保も無理。台湾は新型対戦車・対空ミサイルもあり、台湾を攻撃すると中国は逆に自 国の損害が大になる可能性がある。情報面では、初めて一般市民がSNSを通じて政府と は別に独自で発信しているため、政府が情報をコントロールできなくなった。経済面で は、対ロ経済制裁や外国企業の撤退に伴い、輸出入が減少し、雇用も大幅に減少。通貨価 値も下落して、長期的には大幅な成長率低下(30%減?)となる。政治的には、権威主義国 家の指導者は意思決定すると、判断ミスだと分かっても変更は難しい(進まざるを得な い)ことと、各種指標から侵攻は絶対無理という常識的意思決定(合理的選択)が通用し なかった。また軍事力以上にウクライナ国民の愛国意識(戦う意志)、防衛意識が強かっ た。長い物には巻かれろは通用せず、敵意・憎しみも何世代に渡って引継がれる現実が分 かった。中国も従来のような一方的台湾侵攻という考えを抑制せざるを得ないと(作戦変 更の必要ありと)認識したのではないか。また中国の国民は、台湾へ武力侵攻しても自国 への悪影響はないと98%が考えていたが、この考えも再考せざるを得ないのでは。ウクラ イナと台湾では、まったく同じではないが、それでも今回のロシアによるウクライナ侵攻 の教訓として、中国が台湾有事を起こしたら、それが自身にも跳ね返ってくる。そこまで やって武力侵攻する価値があるかを意識させることができたなら、抑止力になると思われ る。台湾では、日本と付き合っても(日本から)変な押し付けがないという安心感を持っ ている。外交面で国際的孤立を経験した台湾は、日本との交流を続けた結果、現状のまま

やって行ける自信を得た。現状、ビザなし交流もあり、台湾人の日常生活の中に日本の存在感が高まっている。日本はこのアドバンテージをしっかり守ってゆけばよいのではないか。

3. 経済ニュース(劉彦甫 記者)

今月も劉彦甫さん(WTSA出身で東洋経済新報社記者)の署名記事を紹介します。

■車載電池 国内生産の高い壁 電池 | 中韓勢の巨額投資に勝てるか(3/18 東洋経済) 自動車の「100 年に一度の大変革」を駆動する電動化。その要となる電池。その開発をめ ぐって、1 月末、パナソニックを始めとする日本の電池業界を率いる精鋭が一堂に会した。 現状の問題点と今後の展開について述べている。

https://toyokeizai.net/articles/-/577395

劉記者の過去の記事一覧 下記サイトを参照

https://toyokeizai.net/list/author/%E5%8A%89+%E5%BD%A6%E7%94%AB



4. 台湾からの便り 台北稲門会より(斎藤征二さん)

台湾の斎藤さんからの寄稿です。

台湾の航空会社が好業績

新型コロナウイルスの影響で各国の大手航空会社が 業績不振にあえいでいる中で、台湾の航空会社が 好業績をあげており、台湾企業のたくましさを示し ております。以下報道を紹介いたします。



中華航空、21年利益が11年以降の最高

台湾航空大手の中華航空(チャイナエアライン)が 15 日に発表した 2021 年の連結決算は、 純利益が前年の約 67 倍となる 93 億 7,991 万台湾元(約 395 億円)だった。貨物輸送の収 益が全体を押し上げ、11年以降の最高を記録した。経済日報などが伝えた。

中華航空の謝世謙董事長は「世界の航空業が新型コロナウイルス感染症の影響を受けている中、当社は貨物輸送を軸に据え、旅客輸送は補助とする経営戦略を維持している」と説明。貨物機の使用率を上げ、昨年通年の輸送能力をコロナ前から 24%引き上げたことが利益の増加につながったとの見方を示した。

21 年通年の売上高は、前年比 20.5%増の 1,388 億 4,140 万元。このうち貨物輸送収入は 52%増加したが、旅客輸送収入は 76%減少した。粗利益は 2.3 倍の 233 億 5,446 万元、営業利益は 6.9 倍の 149 億 6,804 万元だった。また長栄航空(EVA AIR)も好業績でした。

2月の旅客数がプラス転換 航空2社、年内の貨物市況は楽観

台湾航空大手2社の2022年2月の運営実績が出そろった。中華航空(チャイナエアライン)と長栄航空(エバー航空)の旅客数はそろって前年同月比でプラス転換した。新型コロナウイルスの感染拡大後、2社の旅客数は極端に少ない状況が続いているが、各国・地域の水際対策が緩和に向かい、回復につながったとみられる。一方、貨物輸送事業では2社の積載率はともに7割以上を維持し、今後の市場を楽観している。

台湾航空大手2社は2022年の貨物輸送市場 を楽観している(中央通信社)

中華航空の旅客数は、19.4%増の2万2,200 人で、直近11カ月の最高を記録した。前月 (1万6,966人)からは30.8%増えた。搭乗 率は16.3%で、前年同月比0.7ポイント上 昇。前月比では2.7ポイント上がった。



一方、長栄航空の 2 月の旅客数は前年同月比 42.9%増の 2 万 4,426 人で、 6 カ月ぶりの高水準。前月比では 7.9%増えた。搭乗率は 15.66%で、前年同月比 1.08 ポイント、前月比 0.69 ポイントそれぞれ上昇した。

台湾では3月7日から入境後の検疫期間が従来の14日間から10日間に短縮された。コロナ対策を担う台湾衛生福利部(衛生省)中央流行疫情指揮中心は早ければ4月中旬にも7日間に再度短縮する方針を示している。

経済日報によると、長栄航空の孫嘉明総経理はこのほど、状況を見極めた上で5月にも旅 客便を調整する考えを示した。「検疫期間が7日間から5日間、3日間へと短縮されれば、 下半期 $(7\sim12月)$ には増便することができる」と述べた。

一方、2月は貨物輸送事業も好調を維持した。中華航空は貨物取扱量を公表していないが、 積載率は75.2%だった。前年同月から0.8 ポイント下落したものの、21 カ月連続で70% 台を維持した。

長栄航空の貨物取扱量は前年同月比7.6%増の6万3,861トン。前月比では18.8%減った。 積載率は87.84%で前年同月から5.79ポイント下落したものの、24カ月連続で80%を上回った。

5. 最近の台湾関連ニュース

■台湾のコロナ感染者数 4/7 は382人 (4/8 フォーカス台湾)

4月7日での一日あたり新規感染で 10名以上は新北市 111名、台北市 87名、高雄市 59名、基隆市 41名、桃園市 28名、花蓮縣 16名だった。

■彭明敏氏逝去(4/8 中央社)

台湾独立運動の代表人物であった彭明敏氏が8日亡くなった。1996年の初の民選総統選挙で李登輝氏とも争った。

■米下院議長、10 日訪台か (4/8 産経)

台湾メディアは「ペロシ下院議長が近く台湾を訪問する」と報じた。ペロシ氏は日本の後、台湾へ。米の現職の下院議長の訪台は1997年以来。中国を牽制する狙いがありそうだ。

■米、117 億円規模の台湾ミサイル支援 (4/7 産経)

米国務省は、台湾の地対空ミサイル「パトリオット」を運用、管理するための技術支援と 関連装備品の売却(117 億円)を承認、議会に通知した。昨年8月の自走砲40門、今年2月 のパトリオットの維持、改良のための装備品売却に続き3度目。

■中国、台湾に「フェイク」攻勢 (4/6 産経)

ウクライナ危機で、台湾で中国の軍事的脅威に対する危機感が高まっているが、中国は、 台湾のインターネットにウクライナ情勢に関する大量のフェイクニュースを流した。退避 に難航する台湾人も『台胞証』を持参すればウクライナ国内で派遣機に乗せる予定と。そ してそれに喜ぶウクライナ在住台湾人のコメントなど(現状ウクライナ国内は民間飛行機禁止、台胞証は大陸に行くときのみ有効のため、フェイクとすぐに判明)。

■台湾、大阪万博へ民間出展 中国の妨害回避(4/4 産経)

過去、台湾は万博パビリオン出展に中国の反対で出展を拒まれてきたが、2025年の大阪万博に非営利組織で出展を目指す。今後、TSMCなどに結集を要請する。

■台湾有事「サイバー空間でも結束を」(4/2 産経)

米シンクタンクの「ボストン・グローバル・フォーラム」は、ウクライナ危機で高まる台湾有事の際、サイバー空間でも民主主義国が結束して権威主義国の攻撃に対処すべきと提言。

■政府専用機で日本移送 ウクライナ避難民特使帰路に同乗(3/30 産経)

古川法相は、ウクライナ避難民の受け入れを進めるため、4月1日に首相特使として政府 専用機でポーランドを訪問。帰路で日本への渡航を希望する避難民を政府専用機で移送。

■自民青年局、5月に訪台と発表 (3/30 産経)

小倉将信局長が5月3~7日に台湾を訪問し、蔡英文総統と会談。

■2月の旅客数がプラス転換 航空2社、年内の貨物市況は楽観

(3/23 中央通信社)(台湾・斎藤征二様より)

台湾航空大手2社(中華航空、長栄航空)の 2022 年2月は旅客数が前年同月比でプラス 転換。貨物輸送事業でも2社の積載率はともに7割以上を維持。今後の市場を楽観している。

■安倍元首相、蔡総統と対談(3/22 産経)

自民党の安倍晋三元首相は、リモートで台湾の蔡総統と 15 分間対談。安倍氏は、ロシアのウクライナ侵攻は、「国際秩序に対する挑戦」と。蔡総統は、「台湾人にとってひとごとではない」と。対談は、超党派の日華国会議員連盟の総会の席で行われた。

■中国空母「山東」が 18 日に金門島周辺を航行 (3/19 産経)

■台湾、最も好きな国「日本」首位(3/19 産経)

日本台湾交流協会が18日に発表。60%でトップになった。2位は中国の5%。

■昭和天皇ゆかり桜 台湾から「里帰り」(3/18 産経)

昭和天皇が皇太子時代に行った台湾行啓の際に植えられた桜の苗木が 17 日、東京の靖国神社に植樹され、記念の石碑が建立された。

■蔡総統、東北の地震被害者にメッセージ (3/18 産経)

台湾の蔡総統は17日、宮城県と福島県で最大震度6強を観測した地震についてツイッターでお悔やみを述べた。

■ついにロシアに認められた?台湾、ロシアから『非友好国』と認定 (3/16 産経)

ウクライナ侵攻を理由に、台湾はロシアに経済制裁を科す方針を発表したが、これにロシアが怒り、『台湾』と名指しで『非友好国』とした。今まで、『中国台北』としか、表現してこなかったが、蘇貞昌行政院長は8日、記者団にこの件について「台湾が主権独立国家であることは周知の事実だ」と胸を張った。

■台湾軍、有事に備え訓練強化 蔡政権「自衛の決意大事」と。(3/9 産経)

ロシアのウクライナ侵攻の中、台湾当局は中国による台湾侵攻を想定し、軍事訓練体制を 強化するなど戦力向上に力を入れている。陸・海軍は、台湾東部と南部の海域で合同訓練、 陸軍は新竹市周辺と金門島、澎湖、東沙諸島などで火炎砲撃などの訓練を実施。

6. 注目の台湾関連記事紹介

おがさわらよしゆき

■「台湾有事」は十分に抑止できる(小笠原欣幸)

(『Voice 3月号』(2022 年 2 月 PHP 研究所刊) (840 円) 中国は、台湾統一に強い意志をもっているが、ハードパワー(軍事力)での対抗以上に、ソフトパワーにおいて台湾の存在感が高まっており、さらに蔡総統の国際世論へのアピールが効果を発揮して、中国の攻勢を抑止できるとしている。また日本中国に対する配慮から国際社会の問題は日本の立場を主張し、不合理の場合は反論するという、林外相を含めた外務省のスタンスが従来と違ってきていると指摘している。



■『台湾問題は日本問題』(岡崎久彦)

(海竜社刊 (2008.5.30 刊) (1,800 円)

故岡崎久彦氏の台湾について分析した名著。2008年の刊行だが、今読んでもなるほどと思われるところが多い。特にアメリカの過去の発言ミス(判断)による影響については参考になる。たとえば、クリントン訪中時に「台湾が独立を宣言をしたら、アメリカは台湾を守らない」という論文(ジョセフ・ナイ)」が事前に漏れた(岡崎氏が反論し、幸い、クリントンは訪中時に



発言しなかった)。また米は朝鮮半島を守らないと(トルーマンが)発言しため、北の侵入(朝鮮動乱)を招いた(許した)など。

最近のアフガン撤退時の失態、ウクライナ危機前に(核報復による第三次世界大戦の恐れがあるため)米はウクライナに兵を派遣しないと宣言し、ロシアの侵攻を許すなど、現在も岡崎氏の考えは通用する。また緊急時(台湾有事の際)、沖縄から米軍が台湾に出撃することを事前協議で反対しないと沖縄返還時の佐藤・ニクソン共同声明で宣言したことは現在(2008年時点)も有効としているなども注目に値する。

7. 台湾観光特集

中華民国留日東京華僑総会様より台湾関連観光冊子をいただきました。

『月刊 台湾観光』、『隔月刊 旅 (とりっぷ)』、『おいしいおいしいフォトジェニックな台湾』(インスタ映えする食べ物、飲み物)を紹介しています。毎号ともいろいろの台湾の都市と食べ物をいっぱい紹介しています。コロナ明けの訪台の際は是非ともご利用ください。







8. 国際有事 (橋本紀明)

大学に入った年(1975)にベトナム戦争が終ったが、4月に国際政治学原書で先生から『なぜ、圧倒的に強いアメリカがベトコンに負けたのか?』と質問を受けた。先生の答えは、『スタンスの違い。アメリカは軍事力で短期間に圧倒的な勝利が絶対だったが、ベトコンは、負けない限り勝ち。つまり、長期戦に持ち込めばよかった。長期戦になったことで、経済状態の悪化、国内から厭戦気分が高まり、結局継続できなかった』だった。今から思えば、戦中の石原莞爾の考えと同じだったかも。(最終戦争論)

今回、小笠原先生の講演(『台湾有事と日台関係』)を聴いていて思った。台湾は軍事力においては、アメリカに依存せざるを得ないが、、国際世論を引き付けるのにはイギリスを味方に引き込むことが一番と感じた。イギリスの(世界を味方にする)老獪さはアメリカ以上だが、司馬遼太郎の言葉(『イギリスは約束したことは必ず守る』)を信じるべきかもしれない。ただ、アメリカはいざとなると守ってくれないかもしれないという危うさもあるため、アメリカ一辺倒にならないためにも台湾はイギリスを引き付ける外交努力をしなければいけないと思う。私の勝手な思いつきであるが・・・。

9. 新入会員 会友紹介

たくさんの方のご入会をいただき、ありがとうございます。これからももっと会の活動を 充実させて、皆様のご要望に応えるように努力しますので、今後ともよろしくお願いしま す。1998年に湾生(台湾生まれ)の早稲田出身者からスタートした日台稲門会。親台湾の 方でしたら、ウエルカムです。(ただし、幹事会での承認は必要)

入会日 名前(敬称略)

・12/21 岡温子 小川幹事紹介

· 3/14 大崎雅文 83 理工 台北稲門会

・3/26 加藤健治 会友 岐阜在住

・3/26 簡憲幸 会友 小川幹事紹介

· 3/27 池本好伸 会友 ANA OB

· 3/27 佐藤寿哉 政経

・3/27 小島雄三 81 社会

· 3/28 山田周平 91 政経 再入会

10. 日台早慶ゴルフ対抗戦(ご案内)

2022 年春季早慶ゴルフ対抗戦は、**5 月 20 日 (金) 習志野カントリークラブ クイーンコ ー**スで開催を予定しております。

対抗戦は、早慶各々上位 5 名のグロススコアでの戦いとなりますが、他に新ペリア方式での個人戦、技能賞も考えています。

今回はプレー終了後に簡単な懇親会も考えておりますので、参加希望者は是非幹事までご 連絡ください。

幹事:根本 (Email: koji050857@gmail.com Tel: 090-1114-9866)

なお、台北稲門会では春の「台湾ゴルフ早慶戦(両校で 80 名参加)」を 6 月 4 日(土)台湾 高爾夫倶楽部 (老淡水)で開催との情報が入っております。

編集後記

家庭内暴力を逃れ、保護を求めて児童相談所に駆け込もうとした子供を父親がいきなりせっかんしたようなロシアのウクライナ侵攻。他国による侵攻で膨大な難民が発生するが、これは他国と陸続きの場合。台湾も日本も国土は海に囲まれている。万一の場合、海外への避難というのは困難が予想される。2008年の年末から2009年の年初にかけて、リーマンショックのあおりを受けて東京に年越し派遣村が開設されたのを見て、友人と議論していた時にある人が一言、「そこまで言うのなら、彼らの一人でも自宅に連れて行って泊めてやれ」と。いっぺんでしらけたが、それ以降本当に困った人を一人の人間として助けるということはそういうことだろうなと思うようになった。台湾有事の際、日本に助けてもらえると考える台湾人が46%もいるというニュースも見た。果たして自分に何ができるか。(橋)